か（んがえる力）　**が**（んばる力）　**や**（やさしい心）　**け**（んこうな体）　**未来をになう　二色の子**

二色小だより

12月

家庭数

Ｎｏ．１０
平成 30（2018）年１２月１日
貝塚市立二色小学校

校長室より

子どもに自信をつけるとがんばれる

先日、「子どもとのより良い関係作り～ペアレントトレーニングを通して～」という講演を聞く機会がありました。講師の米田和子先生（NPO 法人ラヴィータ研究所理事長）のお話の中で、みなさんとも共有したいなと思うことがあったので、少しご紹介します。

大人になるために必要なことは、①自分の得意さ・不得意さを知る（自己認知）、②ありのままの自分を受け入れる（自己受容）、③自分でいいんだと思える（自己安定）、④自分で決める（自己決定）です。子どもにこれらが備わるためには、大人からの「あなたでいいよ」というメッセージが大切であり、そのためには「VERY　GOOD！！」ではなく「GOOD！」でほめる習慣をつけようというお話でした。

米田先生は、子どもの安心感を生み出すためには、ダメなことを指摘して直そうというしつけではなく、当たり前にできていることをほめることが必要だと話されていました。

例として示されたのは、「自分から起きられたね。」「『ただいま』って言えたね。」「きれいに食べられたね。お母さん・お父さんうれしいよ。」「お手伝いしてくれてありがとう。助かるよ。」などです。その行動でいいよ！の声かけが安心感につながるということです。

「すごいね。」「えらいね。」は残念ながらダメなほめ方だそうです。なぜなら人格としてほめているからです。そうではなく、具体的な行動について、それでいいよと声をかけましょう。

また、「叱る」は速攻性がありますが、外的制御であり、叱る人の怒りにつながってしまいがちです。子ども自身が行動をコントロールできるようになるには、子ども自身の内的制御が必要です。子どもの人格を叱るのではなく、子どものとったよくない行動を指摘しましょうと話されました。例えば、『×じっと座って食べなさい！あんたは落ち着きがないんだから。→○食事の時に立ち歩くことはよくないよ。』『×こんなところで間違うなんて、あんたって最低ね。→○テストでミスがあるのは残念だったね。』

子どもが安心し、自信がつくような声かけを学校でも家庭でもこころがけたいですね。

12月の行事予定

２日（日）　日曜参観・学校をきれいにしよう
３日（月）　日曜参観代休
４日（火）　お話会（３年）　昔遊び交流（１年）
５日（水）　諸費引落
６日（木）　ヨーグルト館見学（３年）　児童委員会　ひまわり号
７日（金）　なかよし学習発表会
１２日（水）　お話会（１年）
１３日（木）　クラブ
１４日（金）　ブックトーク（２年）
１５日（土）　PTA 実行委員会・学級委員総会
１８日（火）　短縮授業　個人懇談（１丁目）
１９日（水）　短縮授業　個人懇談（２丁目）
２０日（木）　短縮授業　個人懇談（３・４丁目）
２１日（金）　終業式
２２日（土）～冬季休業

１月　８日(火)　始業式　　２４日(木)　学習・クラブ参観

まちかど学級園

１１月２３日（金・祝）に、第五中学校でまちかど学級園が開催されました。

二色小学校からも、飼育・園芸委員会、児童会委員会の有志が参加しました。第五中学校で育ててくださったビオラの苗を、中学生にも手伝ってもらいながらプランターに植え替えました。二色小学校にもいただいたので、玄関前で大切に育てていきます。

６年　修学旅行の感想より

- 私は、広島に行って戦争のこわさと平和の大切さがわかりました。一番心に残ったのは、原爆ドームです。それは、すごくいカのある爆だん（リトルボーイ）を受けたのに、多少はこわれているけど今もまだ残って、人々に戦争のこわさを伝えているからです。私も原爆ドームを見て、こわさを実感しました。そして、今、平和だと思うのでよかったです。この平和をずっと続けていきたい。楽しかったことは、やっぱり買い物です。それは、前日の夜は、みんなと過ごすことができなくてさみしかったけど、当日はみんなと一緒にいることができて、いろいろなものが買えたからです。熱が下がってよかった。みんなと行くことができて楽しむことができました。

- 私は、修学旅行に行って、外国人の平和に対する思いの強さを感じました。それは、平和資料館に行ったとき、外国人が日本人よりも多いんじゃないのと思うほどたくさんいたし、書いてある説明をじっと見ている外国人がとても真剣だったのが忘れられないからです。一番あせったのは、自由行動の時の英語活動です。夫婦にインタビューしたけど、頭が真っ白になって、何個か飛ばして言ったことです。それでも外国人は、笑ったまま対応してくれたので、よかったです。修学旅行は、本当にとても楽しかったです。とても良い思い出ができました。

- 資料館には、いろいろなものが展示してあって、かわらがあわ状にぶつぶつになっていて、原爆の熱線の力がそれくらいひどかったんだと思いました。資料館で一番すごいと思ったのは、佐々木貞子さんのおりづるです。白血病になって起き上がることができなくなっても、千羽づるを折ると病気がなおると信じて、小さな薬の包み紙でおり続けたからです。１日目は、原爆のことを学んだり、被爆された方から話を聞いたりしました。２日目は、宮島に行きました。水族館に行って、いろいろな水の生き物を見ました。特に、アシカのショーは、お笑いみたいでおもしろかったし、アシカに輪を投げる役をやり、初めははずれたけど、次にできてよかったし、うれしかったです。次に、商店街をグループでまわれたのもおもしろかったです。旅館でみんなで話したりねたりして、本当に楽しかったです。一生の思い出です。

音楽集会

１１月６日（火）の３時間目、音楽集会がありました。普段の音楽の学習の発表の場として、子どもたちははりきって練習してきました。当日は、たくさんの保護者の応援に支えられ、練習してきた成果を十分に発揮してくれました。当日までのご家庭での練習支援や励まし、当日の心からの応援、本当にありがとうございました。